

2012年度研究業績

(原著論文：症例報告を含む)

- Kikuchi N, Takada K, Sashika H: The relationship with age and Japanese independent daily life scale, modified Rankin Scale, NIHSS, ADL in stroke survivors: Analysis from JARM Data Base. Proceedings of the 3rd Asia-Oceanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine, **3**:85-90, 2012.
- Kikuchi N, Takada K, Sashika H: The rehabilitative approaches for the respirator-dependent seriously disabled children:preparation for the first discharge to home from neonatal or paediatric intensive care unit. Proceedings of the 3rd Asia-Oceanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine, **3**: 91-96, 2012.
- Mizuochi K: Rehabilitation medicine in the acute care setting in Japan. JMAJ, **55** (3) : 246-252, 2012.
- 伊藤利之：一貫したリハビリテーションサービスを総合的に提供するために—総合リハビリテーションセンターの果たすべき役割と機能—。リハビリテーション研究, **150** : 31-34, 2012.
- 伊藤利之：リハビリテーション関連法規。総合リハ, **40** : 795-799, 2012.
- 水落和也：リハビリテーション部門における感染対策の基本。臨床リハ, **21** (2) : 135-143, 2012.
- 水落和也：物理療法のエビデンスと実践 温熱療法・寒冷療法。臨床リハ, **21** (8) : 796-801, 2012.
- 水落和也：血管原性切断者のリハビリテーション。総合リハ, **40** (5) : 720-725, 2012.
- 水落和也：進行がん・末期がんのリハビリテーションガイドライン作成に関する研究。厚生労働省科学研究費補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究/平成23年度総括・分担研究報告書 : 352-354, 2012.
- 亀井 聡, 小川克彦, 大越教夫, 中野今治, 水野裕司, 尾方克久, 朝比奈正人, 里宇明元, 上坂義和, 大竹敏之, 水落和也, 長谷川一子, 小池亮子, 瀧山嘉久, 橋本修二：関東甲越地区におけるスモン患者の検診第24報。厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)スモンに関する調査研究班平成23年度総括・分担研究報告書 : 37-40, 2012.
- 島津尚子, 上杉 上, 水落和也, 畠中泰司：高齢下腿切断の理学療法の現状と課題。理学療法ジャーナル, **46** (12) : 1073-1079, 2012.
- 高岡 徹：リハ医のモヤモヤ解決！こんなときどうする？社会(支援)制度に精通したい。臨床リハ, **21** (6) : 607-609, 2012.
- 高岡 徹：リハビリテーション関連書類の書き方：特別障害者手当診断書(肢体不自由用)。総合リハ, **40** (7) : 1033-1037, 2012.
- 横山 修, 高内裕史, 佐久間藤子, 花田拓也, 伊藤良介：非外傷性脊髄の特徴とFunctional outcome 非外傷性脊髄障害の特徴と合併症。日本脊髄障害医学会誌, **25** (1) : 54-55, 2012.
- 横山 修：リハビリテーション。脊椎・脊髄— up to date. Clinical neuroscience, **30** (10) : 1188-1190, 2012.
- 横山 修：脊髄損傷の合併症。総合リハ増大特集号/リハビリテーションQ&A, **40** (5) : 551-556, 2012.
- 菊地尚久, 高田薫子, 栗林 環, 若林秀隆, 佐鹿博信, 水落和也：痙性対麻痺患者に対する髄注バクロフェン治療を併用した運動療法の経験。運動療法と物理療法, **23** (1) : 100-104, 2012.

菊地尚久, 佐鹿博信, 内藤咲月, 水落和也: 救命救急センターに搬送される頸髄損傷患者の近年の特徴, 急性期リハ, 転院先に関して. 日本脊髄障害医学会誌, **25** (1) : 42-43, 2012.

高倉朋和, 水落和也, 菊地尚久, 佐鹿博信, 村田英俊: 急速進行性のHTLV-1関連脊髄症 (HAM) に対してITB療法・理学療法の併用が奏功した1例. 日本脊髄障害医学会雑誌, **25** (1) : 58-59, 2012.

根本明宜, 植田尊善, 片山容一, 君塚 葵, 平 孝臣, 水澤英洋, 里宇明元, 伊藤 隆, 杉原匡周, 小糸素直: ギャバロン髄注 (バクロフェン) シンクロメッドポンプシステム特定使用成績調査 中間報告. 臨床医薬, **28** (11) : 1059-1099, 2012.

臺 有桂, 木内いずみ, 佐藤美樹, 杉山佳菜子, 今松友紀, 糸井和佳, 河原智江, 田口理恵, 深田恵美, 田高悦子, 根本明宜, 水嶋春朔, 森口エミリオ秀幸: ブラジル日系人コロニアにおける地域看護診断. 横浜看護学雑誌, **5** (1) : 71-76, 2012.

佐藤美樹, 田高悦子, 臺 有桂, 今松友紀, 田口理恵, 河原智江, 糸井和佳, 根本明宜, 水嶋春朔, 森口エミリオ秀幸: ブラジル日系永住者の地域における健康づくりの担い手が有する資質と役割の記述的研究. 横浜看護学雑誌, **5** (1) : 55-62, 2012.

高倉朋和, 水落和也, 佐鹿博信, 伊藤良介: サーファーズ・ミエロパチーの国内発症状況に関するアンケート調査. 日本脊髄障害医学会雑誌, **25** (1) : 104-105, 2012.

高田薫子, 菊地尚久, 若林秀隆, 佐鹿博信: 仙骨部褥瘡の加療中に頸部脊髄症による四肢麻痺増悪が明らかとなった成人脳性麻痺の1症例. Journal of Clinical Rehabilitation, **21** (1) : 104-108, 2012.

横西哲広, 藤川 敦, 田中克幸, 佐藤博信, 所 和彦, 高倉朋和, 小川毅彦: 継続的治療を受けなかった二分脊椎症の3例. 泌尿器科紀要, **58** (1) : 31-34, 2012.

高倉朋和, 水落和也, 西郊靖子, 根本明宜, 藤田悠介, 佐鹿博信: 症例報告/母指切断者のためのクラシックギター演奏用義指の作製. 日本義肢装具学会学会誌, **28** (特) : 172, 2012.

上島順子, 谷口英喜, 若林秀隆, 望月弘彦: 神奈川県下におけるNST 加算制度の現状. 静脈経腸栄養, **27** (2) : 747-751, 2012.

(総 説)

伊藤利之: 身体障害者診断書・意見書の書き方 (小児) —脳原性運動機能障害用—. 総合リハ, **40** : 85-87, 2012.

水落和也: 障害者スポーツにおけるリハ医の役割. 臨床リハ, **21** (8) : 733, 2012.

根本明宜: 【痙縮治療の再考—ボツリヌス毒素治療を中心に】痙縮治療の方法と対象病態. Journal of Clinical Rehabilitation, **21** (10) : 944-951, 2012.

根本明宜: 臨床研究入門臨床研究の意義・エビデンスのレベル. 総合リハビリテーション, **40** (8) : 1138-1141, 2012.

根本明宜: 【リハビリテーションにおける動作解析】小児患者. 総合リハビリテーション, **40** (7) : 977-981, 2012.

根本明宜: リハビリテーションと医療安全 病院機能評価. Journal of Clinical Rehabilitation, **21** (2) : 198-202, 2012.

菊地尚久: リハビリテーションの原点: リハビリテーションチーム. 総合リハビリテーション, **40** (5) : 441-445, 2012.

- 菊地尚久, 水落和也: 熱傷患者への早期リハビリテーション. *Emergency Care*, **25** (2) : 42-47, 2012.
- 半澤直美, 牛島智子: リハビリテーションQ&A「37. 精神発達」. *総合リハビリテーション*, **40** : 643-647, 2012.
- 若林秀隆: 侵襲のリハビリテーション栄養. *ニュートリションケア*, **6** (1) : 86-88, 2012.
- 若林秀隆: 低栄養患者における口から食べるメリットーサルコペニアへの対応を含めて. *日本歯科評論*, **73** (1) : 128-136, 2012.
- 若林秀隆: 飢餓のリハビリテーション栄養. *ニュートリションケア*, **5** (12) : 1213-1215, 2012.
- 若林秀隆: 栄養障害の病態とリハビリテーション栄養. *ニュートリションケア*, **5** (11) : 1140-1142, 2012.
- 若林秀隆: 高齢者にみられるリハビリテーションの問題点—廃用性変化, 嚥下障害, 栄養障害を中心に. *PROGRESS IN MEDICINE*, **32** (10) : 2091-2094, 2012.
- 若林秀隆: 栄養障害の基本. *月刊薬事*, **54** (11) : 1775-1778, 2012.
- 若林秀隆: メッツ・活動係数とリハビリテーション栄養. *ニュートリションケア*, **5** (10) : 1005-1007, 2012.
- 若林秀隆: サルコペニアとリハビリテーション栄養. *臨床栄養*, **121** (4) : 477-481, 2012.
- 若林秀隆: 食介護とサルコペニア. *摂食・嚥下障害を考える—口から食べる幸せづくり【第6集】* : 4-11, 2012.
- 若林秀隆: 高齢者における運動と栄養. *地域リハビリテーション*, **7** (9) : 721-724, 2012.
- 若林秀隆: 栄養と理学療法. *理学療法ジャーナル*, **46** (9) : 829-836, 2012.
- 若林秀隆: リハビリテーション栄養のチーム医療. *ニュートリションケア*, **5** (9) : 934-936, 2012.
- 若林秀隆: リハビリテーション栄養とは. *ニュートリションケア*, **5** (8) : 825-827, 2012.
- 若林秀隆: QOL の観点から栄養を考える第14回: 栄養状態の評価. *Run&Up*, **8** (2) : 6-7, 2012.
- 若林秀隆: ナースが気づきたい! サルコペニア (骨格筋減少症) の見抜き方と臨床上の問題点. *エキスパートナース*, **28** (7) : 18-21, 2012.
- 若林秀隆: がん悪液質の定義と分類: 国際コンセンサス. *日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌*, **16** (1) : 86, 2012.
- 若林秀隆: サルコペニアとリハビリテーション栄養. *ヘルスケアレストラン*, **20** (5) : 32-33, 2012.
- 若林秀隆: PEM (たんぱく質・エネルギー栄養障害). *ニュートリションケア*, **5** (4) : 356-357, 2012.
- 若林秀隆: サルコペニア. *ニュートリションケア*, **5** (4) : 358-359, 2012.
- 若林秀隆: カヘキシア (悪液質). *ニュートリションケア*, **5** (4) : 360-361, 2012.
- 若林秀隆: 摂食・嚥下障害患者への経管栄養 医療の実際. *臨床看護*, **38** (4) : 492-494, 2012.
- 若林秀隆: 栄養ケアによるサルコペニアの予防と治療. *FOOD Style 21*, **16** (3) : 29-31, 2012.

(著 書)

- 伊藤利之: 活動向上プログラム. *標準リハビリテーション医学*: 上田 敏 (監修), 伊藤利之・他 (編). 医学書院, 234-242, 2012.
- 伊藤利之: 地域リハビリテーション. *標準リハビリテーション医学*: 上田 敏 (監修), 伊藤利之・他 (編). 医学書院, 488-492, 2012.
- 伊藤利之: リハビリテーションに関連する法制度. *標準リハビリテーション医学*: 上田 敏 (監修), 伊藤利之・他 (編). 医学書院, 493-497, 2012.
- 水落和也: リハビリテーション 黒岩義之, 宗村美江子編 *新体系看護学全書 成人看護学⑥脳・神経*. メヂカ

ルフレンド社, 158-162, 2012.

水落和也: 脳・神経疾患の地域医療ネットワーク 黒岩義之, 宗村美江子編 新体系看護学全書 成人看護学⑥
脳・神経. メヂカルフレンド社, 162-166, 2012.

水落和也: 日本リウマチ学会編 リウマチ専門医試験一例題と解説一改訂5 版. MEDICAL VIEW 社, 365-374,
2012.

水落和也: 関節リウマチ 伊藤利之, 大橋正洋, 千田富義, 永田雅章編/標準リハビリテーション医学第3 版.
医学書院, 441-452, 2012.

伊藤良介: 標準リハビリテーション医学/第3 版: 排尿・排便障害, 性機能障害. 医学書院, 264-272, 2012.

高岡 徹: 活動 (ADL など) の評価. 標準リハビリテーション医学第3 版/上田敏監修伊藤利之, 大橋正洋, 千
田富義, 永田雅章編集. 医学書院, 147-152, 2012.

根本明宜: QOL の評価. 上田 敏 (監修), 伊藤利之, 大橋正洋, 千田富義, 永田雅章 (編集) /標準リハビリ
テーション医学 (第3 版). 医学書院, 152-156, 2012.

菊地尚久: 全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する効果的な社会復帰支援に関
する研究. 平成23年度厚生労働省科学研究補助金研究報告書, 2012.

若林秀隆, 藤本篤士: サルコペニアの摂食・嚥下障害—リハビリテーション栄養の可能性と実践. 医歯薬出版,
2012.

若林秀隆: 地域連携の実際①神奈川摂食・嚥下リハ研究会の紹介. 小山珠美監修/ビジュアルでわかる早期経口
摂取実践ガイド. 日総研, 22-23, 2012.

若林秀隆: リハビリテーション栄養と摂食・嚥下障害. 小山珠美監修/ビジュアルでわかる早期経口摂取実践ガ
イド. 日総研, 76-80, 2012.

若林秀隆: サルコペニアの栄養ケアマネジメント. 佐々木雅也・岩川裕美・本田佳子・河原和枝編/「臨床栄養」
別冊NCM シリーズ 栄養ケアマネジメントファーストトレーニング3 呼吸器疾患, 摂食・嚥下障害, 褥瘡他.
医歯薬出版, 100-105, 2012.

若林秀隆: 食介護とサルコペニア. 大越ひろ, 渡邊昌, 白澤卓二監修/高齢者用食品の開発と展望. シーエムシ
ー出版, 272-276, 2012.

若林秀隆: 若林秀隆編/ リハビリテーション栄養—栄養はリハのバイタルサイン. Medical Rehabilitation No143.
全日本病院出版会, 2012.

(学会等発表)

Kikuchi N, Sashika H, Wakabayashi H, Takada K, Mizuochi K: The important point to use the cognitive
screening test for acute traumatic brain injury patients in Japan. 9th Meeting of International Brain
Injury Association, Edinburgh, 2012, 3.

Kikuchi N, Sashika H, Wakabayashi H, Takada K, Mizuochi K: Effectiveness of intensive rehabilitation
for the acute phase spinal cord injury patients of the critical care and emergency center in Japan.
3rd Asia-Oseanian Conference of Physical Rehabilitation and Medicine, Nusadua, 2012, 5.

Wakabayashi H, Sashika H: Nutrition status and rehabilitation outcome in the disuse syndrome: a
prospective cohort study. 34th Congress of the European Society of Clinical Nutrition and Metabolism,

Barcelona, 2012, 9.

Wakabayashi H, Sashika H: Nutritional status and level of activity of daily living in patients with disuse syndrome. 3rd Asia-Oceanian Conference of Physical and Rehabilitation Medicine, Bali, 2012, 5.

Takada K, Kikuchi N, Wakabayashi H, Sashika H: The rehabilitative approaches for the pediatric severe disabilities with the respirators at the first discharge to home from Neonatal and Pediatric Intensive Care Unit. 3rd Asia-Oceanian Conference of Physical and Rehabilitation Medicine, Nusadua, 2012, 5.

Takada K, Kikuchi N, Sashika H: Effectiveness of early phase rehabilitation for pediatric and adolescent traumatic brain injury patients in the critical care and emergency unit. 9th World Congress on Brain Injury, Edinburgh, 2012, 3.

Takakura T, Mizuochi K, Nishioka Y, Kikuchi N, Sashika H: Two cases of stump pain due to chronic expanding hematoma. Asian Prosthetic and Orthotic Scientific Meeting 2012, Kobe, 2012, 8.

伊藤良介：障害者自立支援施設の利用について。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，5.

亀井 聡，小川克彦，大越教夫，中野今治，水野裕司，尾方克久，朝比奈正人，里宇明元，上坂義和，大竹敏之，水落和也，長谷川一子，小池亮子，瀧山嘉久，橋本修二：関東甲越地区におけるスモン患者の検診第24報。平成23年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）スモンに関する調査研究報告会，東京，2012，2.

稲田雅也，坂本安令，岡崎理恵，鈴木秀美，水落和也：生物学的製剤を使用しているリウマチ患者の長期経過。第46回日本作業療法士学会，宮崎，2012，6.

松宮美奈，島津尚子，柿沼綾美，渡辺拓也，上杉 上，水落和也：変形性股関節症に対する除痛目的の手術を施行した家族性痙性対麻痺の1例。第31回関東甲信越ブロック理学療法士学会，大宮，2012，9.

渡辺 拓，上杉 上，小西聡宏，小林寿絵，島津尚子，向山ゆう子，中村大輔，松宮美奈，水落和也：変形性股関節症を合併した脳外傷・両側片麻痺の1例—歩行再獲得に向けた理学療法—。第72回神奈川リハビリテーション研究会，横須賀，2012，3.

高倉朋和，水落和也，西郊靖子，松浦秀憲，菊地尚久：ムチランス変形の手指機能。第24回横浜リウマチフォーラム，横浜，2012，5.

佐久間藤子，高倉朋和，水落和也，西郊靖子，松浦秀憲，菊地尚久：関節リウマチ機能障害進行時の短期リハビリ入院の効果。第25回横浜リウマチフォーラム，横浜，2012，9.

中尾真理，水落和也，西郊靖子，菊地尚久，高倉朋和：首下がりを繰り返したパーキンソン病症例に対する入院リハビリテーションの経験。第51回日本リハビリテーション医学会関東地方会学術集会，さいたま，2012，3.

水落和也，西郊靖子，高倉朋和，中尾真理，佐鹿博信，根本明宜，菊地尚久：歩行可能症例に対するITB療法の経過。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.

西郊靖子，中尾真理，高倉朋和，菊地尚久，水落和也，佐鹿博信：小児線維筋痛症のチームアプローチと医学的リハビリテーションの役割。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.

高岡 徹，稲澤明香，小林宏高，橋爪紀子，小池純子，伊藤利之：スポーツ活動を継続している慢性期脳卒中者の体力は5年間でどのように変化したか。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，5.

- 高岡 徹：パネルディスカッション：公的立場で運営する補装具クリニックの工夫。第28回日本義肢装具学会学術大会，名古屋，2012，11.
- 横山 修，高内裕史，花田拓也，伊藤良介：C6運動完全麻痺の獲得するADL 一年齢による違い。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.
- 横山 修，高内裕史，花田拓也，伊藤良介：C7運動完全麻痺の獲得するADL 一年齢による違い。第47回脊髄障害医学会，静岡，2012，10.
- 栗林 環，高橋素彦，金森裕一，福みずほ，前野 豊：回復期リハ病棟脳卒中患者における同一病院内での病院完結型群と地域完結型群のデータ比較。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.
- 菊地尚久：痙性対麻痺患者に対する痙縮コントロールの効果とその問題点。第3回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会，横浜，2012，2.
- 菊地尚久，佐鹿博信：就労年齢にある脳卒中患者の日常生活自立度と年齢，脳卒中評価スケール，ADL の関連／リハ患者DB による分析。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.
- 菊地尚久，佐鹿博信：自立訓練施設における入所型自立訓練事業の全国現況調査。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.
- 菊地尚久，若林秀隆，佐鹿博信，上野理美子：食道癌術後患者に対する嚥下評価と術後リハビリテーション一癌の進行度，術後肺炎，食形態の経過に着目して。第18回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，札幌，2012，8.
- 栗林 環，菊地尚久，前野 豊，佐鹿博信：脳卒中患者における病院完結型と地域完結型の回復期リハ病棟のデータ比較：リハ医学会患者DB を用いた分析。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，6.
- 栗林 環，前野 豊，高橋素彦，福みずほ，伊藤利之：脳卒中回復期リハにおける病院完結型と地域完結型の帰結比較。第7回日本リハビリテーション医学会専門医会学術集会，名古屋，2012，11.
- 高倉朋和，水落和也：断端痛の診断・治療。断端神経腫と慢性拡張性血腫～切断者の断端痛を見逃すな！～。横浜リハビリテーション研究会，横浜，2012，2.
- 高倉朋和，水落和也，西郊靖子，根本明宣，藤田悠介，佐鹿博信：症例報告／母指切断者のためのクラシックギター演奏用義指の作製。第28回日本義肢装具学会学術大会，名古屋，2012，11.
- 稲澤明香，高岡 徹，橋爪紀子，小林宏高，小池純子，伊藤利之：スポーツ活動を継続している慢性期脳卒中者の体力とQOL の長期的変化。第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，5.
- 稲澤明香，高岡 徹，橋爪紀子，小林宏高，小池純子，伊藤利之：電撃性紫斑病による四肢切断に対する義足作製の経験。第28回日本義肢装具学会学術大会，名古屋，2012，11.
- 若林秀隆：口腔のサルコペニアとリハビリテーション栄養。第57回日本口腔外科学会総会・学術大会・第6回歯科衛生士研究会，横浜，2012，10.
- 若林秀隆：リハビリテーション栄養とサルコペニア。リハビリテーション・ケア合同研究大会札幌2012，札幌，2012，10.
- 若林秀隆：在宅における食とリハビリテーション栄養。第3回日本プライマリ・ケア連合学会，福岡，2012，9.
- 若林秀隆：サルコペニアに対するリハビリテーション栄養。第3回日本プライマリ・ケア連合学会，福岡，2012，9.

若林秀隆：ヨーロッパの摂食・嚥下分野における栄養管理の現況と課題．第17回・18回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，札幌，2012，8．

若林秀隆：身体活動性の早期回復とリハビリテーション栄養．第49回日本外科代謝栄養学会，舞浜，2012，7．

若林秀隆，佐鹿博信：低栄養が廃用症候群入院患者のADLの予後に与える影響：前向きコホート研究．第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，5．

若林秀隆：サルコペニア・大腿骨頸部骨折に対するリハビリテーション栄養—栄養ケアがリハを変える．第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，5．

若林秀隆：栄養アセスメントとリハビリテーション栄養．第35回日本栄養アセスメント研究会，大阪，2012，5．

若林秀隆：リハビリテーションにおける栄養管理の重要性．日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医生涯教育研修会北海道地方会，札幌，2012，3．

若林秀隆：これからのリハNST—リハビリテーションと栄養療法の質向上のために．第27回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2012，2．

若林秀隆：リハビリテーション栄養とサルコペニア．第27回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2012，2．

若林秀隆：栄養アセスメントによる廃用症候群の高齢入院患者のADL 予後予測．第27回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2012，2．

若林秀隆：サルコペニアと摂食・嚥下障害．第27回日本静脈経腸栄養学会，神戸，2012，2．

若林秀隆：食介護とサルコペニア．第6回食介護研究会，東京，2012，2．

若林秀隆：廃用症候群の高齢入院患者のADL と栄養状態の関連：横断研究．第15回日本病態栄養学会，京都，2012，1．

高田薫子，菊地尚久，若林秀隆，佐鹿博信：能動義手長期使用後に前腕筋電義手を導入した高齢両上肢切断の症例経験．第49回日本リハビリテーション医学会学術集会，福岡，2012，5．

(研究助成金)

伊藤利之(分)：身体障害者福祉法における今後の障害認定のありかたに関する研究．平成24年度厚生労働科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業．

佐鹿博信(代)：脳外傷の高次脳機能障害に対する居宅訪問面接と行動観察による地域リハ・ニーズ評価．文科省科学研究費基盤研究(C) (2012～2014)，140万円．

水落和也(分)：スモン患者の自律神経機能と運動能力に関する研究．厚生労働省科学研究費難治性疾患克服研究事業，80万円．

水落和也(分)：がんのリハビリテーションガイドライン作成のためのシステム構築に関する研究．厚生労働科学研究費第3次がん総合戦略研究事業(2010～2012)，35万円．

水落和也(分)：新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築．平成24年度科学研究費補助金基盤研究(B) (2010～2013)，10万円．

若林秀隆(分)：地域・在宅高齢者における摂食嚥下・栄養障害に関する研究—特にそれが及ぼす在宅療養の非継続性と地域における介入システムの構築に向けて—．厚生労働科学研究費補助金長寿科学総合事業(2012～2014)，220万円．

根本明宜(代)：新たなソケット作製キット導入により早期義肢装着を可能にするシステム構築．平成24年度科

学研究費補助金基盤研究 (B) (2010-2013), 35万円.

根本明宜 (分) : 人体動作取得解析システムの開発およびエキスパート看護師の動作の一般応用可能性の検証.

平成24年度科学研究費補助金基盤研究 (C) (2012-2013), 10万円.

根本明宜 (分) : 大学所蔵貴重資料のデジタル・アーカイブによる知的ブランドの確立 (脳コレクション) ユニ
ット. 横浜市立大学平成24年度戦略的研究推進費, 25万円.

栗林 環 (代) : 脳卒中回復期リハにおける病院完結型と地域完結型の帰結比較. 平成24年度日本リハビリテー
ション医学会専門医会研究補助金, 20万円.

菊地尚久 (代) : 全国リハビリテーション患者データベースを用いた維持期障害者に対する効果的な社会復帰支
援に関する研究. 平成24年度厚生労働科学研究補助金障害者対策総合研究事業 (2011-2013), 754万円.

菊地尚久 (代) : 脳外傷リハデータベースによる社会復帰に向けたリハ介入効果の多施設間検討. 平成24年度文
部科学省科学研究費助成事業基盤研究 (C), 135.5万円.

菊地尚久 (分) : 脳外傷による高次脳機能障害者に対する居宅訪問面接と行動観察による地域リハ・ニーズ評価.
平成24年度文部科学省科学研究費基盤研究 (C) (2012-2014), 25万円.

(その他)

(講 演)

伊藤利之 : 障害者と社会福祉制度. 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会主催/リハビリテーションテ
ーション看護師認定コース (第5期), 大阪, 2012, 1.

伊藤利之 : 補装具費支給に関する動向について : 車いすを中心として. 山口県身体障害者福祉センター主催/補
装具費支給判定に係る講習会, 山口, 2012, 1.

伊藤利之 : 人財育成の課題と展望. 第4回東都保健医療福祉協議会セラピスト部会総会 (特別講演), 東京, 2012,
1.

伊藤利之 : 障害者のリハビリテーションと社会保障. 東都保健医療福祉協議会職責者研修会, 東京, 2012, 2.

伊藤利之 : 障害者・高齢者に関わる法制度. 第6回福祉・地域リハビリテーション実習研修会, 横浜, 2012, 2.

伊藤利之 : 地域・在宅リハビリテーション. 第6回福祉・地域リハビリテーション実習研修会, 横浜, 2012, 2.

伊藤利之 : ICF の概念とその利用. 平成23年度横浜リハビリテーション看護研究会, 横浜, 2012, 2.

伊藤利之 : 補装具費支給システムの課題と展望. 平成23年度第2回補装具研修会, 岡山, 2012, 2.

伊藤利之 : 病院におけるリハビリテーションVS 地域・在宅におけるリハビリテーション. 柳原リハビリテーシ
ョン病院平成24年度全体研修会, 東京, 2012, 4.

伊藤利之 : 障害の捉え方. 横浜市障害者更生相談所主催リハビリテーション科, 救急部, 臨床検査部/平成24
年度第1回障害福祉支援者研修, 横浜, 2012, 5.

伊藤利之 : 障害者のリハビリテーションと社会制度. 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会主催/回復
期セラピストマネージャーコース (第2期), 東京, 2012, 6.

伊藤利之 : 障害者のリハビリテーションと社会保障. 東都保健医療福祉協議会研修会, 東京, 2012, 7, 8, 9, 12.

伊藤利之 : 補装具の支給システム. 国立身体障害者リハビリテーションセンター主催/第69回義肢装具等適合判
定医師研修会, 所沢, 2012, 8.

伊藤利之 : 総合リハビリテーションの実現に向けて—地域リハビリテーションの実践から—. 第35回総合リハビ

リハビリテーション研究大会，横浜，2012，9.

伊藤利之：障害者と社会福祉制度．全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会主催／リハビリテーション
テーション看護師認定コース（第6期），東京，2012，11.

伊藤利之：シーティング・エンジニア（SE）の意義と役割．日本車いすシーティング協会主催／第3回シーティ
ング・エンジニア養成講習会，東京，2012，11.

水落和也：杖・歩行補助具．平成24年度義肢装具等適合判定医師研修会第70回前期，所沢，2012，8.

水落和也：リハビリテーション科から見たITBの適応．ITB療法シンポジウム，東京，2012，2.

水落和也：リハビリテーション・患者管理．ITB講習会，東京，2012，6.

水落和也：がん患者のリハビリテーション．平成24年度横浜市立大学附属病院緩和ケア研修会，横浜，2012，9.

水落和也：がん患者に対するリハゴール設定の考え方．第11回がんのリハビリテーション研修会，東京，2012，
10.

水落和也：新しい診断・治療体系における関節リウマチのリハビリテーション．平塚市医師会第12回地域リハ
ビリテーション研修会，平塚，2012，11.